

科目名 小児看護学概論 時間割表記名 小児看護学概論	配当時期 1年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 隈部直子	
事前学習内容 小児期の各発達段階の特徴について			
授業目標 1. 子どもを家族の中の存在として位置づけ、子どもと家族を中心とし子どもの尊厳を保証する小児看護の基本的な考え方が理解できる。 2. 健康な子どもの成長・発達の特徴を学び、子どもを取り巻く現代の家族や社会の状況を理解できる。 3. 小児を取り巻く環境と保健医療の動向について理解できる。 4. 小児看護の目標と役割が理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解できる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 小児看護の特徴と理念 1)小児看護の目ざすところ 2)小児看護の特徴 3)小児看護の目標	講義	テキスト① テキスト②
2	2. 小児と家族の諸統計 1)出生と家族 2)子どもの死亡 3. 小児看護の変遷 1)小児医療、小児看護の変遷 2)現代の小児看護 4. 小児看護の課題 1)疾病構造の変化と小児看護 2)社会の変化と小児看護 3)小児看護の専門分化	講義	テキスト①
3	5.小児看護における倫理 1)子どもの権利(児童憲章・子どもの権利条約) 2)医療現場で起こりやすい問題と看護	講義	テキスト①
4	6. 子どもの成長・発達 1)成長・発達とは (1)小児看護学における発達論	講義	テキスト① テキスト②
5	(2)成長・発達の進み方 (3)成長発達に影響する因子 (4)成長・発達の評価		

6	7. 乳児期の成長発達の特徴 1)形態的特徴 2)身体・生理的特徴 3)感覚・運動機能 4)知的機能 5)情緒・社会的機能、コミュニケーション	課題学習 グループワーク 発表・討議	個人課題をもとにグループワークを進める テキスト① テキスト②
7	6)養育および看護		
8	8. 幼児期の成長発達の特徴 乳児期1)～6)に準じる		
9	9. 学童期の成長発達の特徴 乳児期 1)～6)に準じる		
10	7)学童を取り巻く諸環境 8)不適応行動、症状 10. 思春期・青年期の成長発達の特徴 乳児期 1)～2)に準じる 4)知的・情緒(心理)的、社会的機能 5)生活の特徴 6)心理的・社会的適応に関する問題 7)思春期の看護		
11	11. 看護の特徴とアセスメント	講義 グループワーク	テキスト①
12	1)子どもにとっての家族とは 2)家族アセスメント		
13	12. 子どもを取り巻く社会 1)児童福祉 (児童福祉法・児童虐待の防止に関する法律) 2)母子保健(母子保健法・健やか親子 21)	講義	テキスト①
14	3)医療費の支援 (未熟児養育医療・小児慢性特定疾病医療費助成・自立支援 医療) 4)予防接種(予防接種法・感染症法) 5)学校保健(学校保健安全法) 6)特別支援教育	講義	テキスト①
15	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
	小児看護の役割	講義	
<p>受講上の注意</p> <p>○講義と6回目～10回目は、事前学習をもとに小児期の各発達段階の特徴についてグループでまとめ、全体発表を行う。</p> <p>○評価は、グループ発表の過程と成果および筆記試験で行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>レポート 筆記試験</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児看護学総論 医学書院</p> <p>②舟島なをみ、望月美知代 看護のための人間発達学 第5版 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>①国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p> <p>②子供・若者白書 内閣府</p>			